

私たちは、学校現場の実態を踏まえ要望します!!

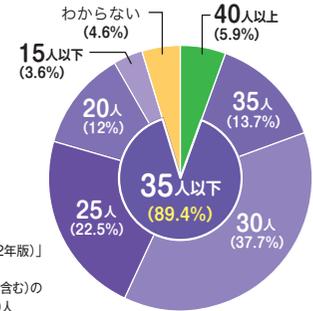
子ども一人一人へのきめ細かな教育を実現するため、法律改正による確実な教職員定数改善を盛り込んだ**教職員定数改善計画の策定**を。

意欲と情熱をもって教育に取り組む優れた教職員を確保するため、**人材確保法の趣旨を踏まえた教員給与水準の確保**を。

保護者が望む1クラス当たりの児童生徒数

保護者の**89.4%**が35人以下を望んでいます。

出典「保護者の意識に関する調査(2012年版)」
社会応援ネットワーク調べ
対象者:小学生~高校生(特別支援学級を含む)の子どもをもつ全国の保護者3000人



政府の「教育再生実行会議の第5次提言」(平成26年7月3日)

- 課題解決、双方向型授業等にも対応した質の高い教育を実現するため、**教職員配置の充実を図る**。
- 教師に対する社会からの信頼感や尊敬の念が醸成され、優秀な人材を教育現場に引き付けるため、いわゆる**人材確保法の初心に立ち返り教師の処遇を確保する**。

近年の学校の状況

- **新学習指導要領の実施(小:H23~中:H24~)に伴う教育の質と量の拡充(小学校英語など)**
- **学校を取り巻く教育課題の多様化・深刻化(いじめ問題への対応、防災教育の強化、特別支援教育の充実、経済的に困窮している子どもへの対応など)**
- **教員の多忙化(TALIS2013調査:中学校教員の週当たり勤務時間53.9時間は、参加34カ国中最長。参加国平均は38.3時間)**

教員一人当たり児童生徒数

出典:図表で見る教育(2014年版)

	日本	OECD平均
小学校段階	17.7人	15.3人
中学校段階	14.1人	13.5人

小1・35人以下学級導入への評価

全国連合小学校長会調べ(平成23年8月)

学級担任の評価

「学習意欲が向上した」 **97.2%**
「きめ細かい指導が充実した」 **99.2%**

保護者の評価

「先生はきめ細やかに対応してくれる」 **94.9%**
「子どもが勉強好きになった」 **84.2%**

財務省の以下の提案は現場実態から認められません!!

- ~~小学校1年生の学級編制を35人から40人へ戻すべき~~
- ~~加配教職員定数を毎年度約1,600人減少すべき~~
- ~~教員給与を削減すべき~~

子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体連絡会

(公社)日本PTA全国協議会、(公社)日本教育会、全国市町村教育委員会連合会、全国都市教育長協議会、中核市教育長会、全国町村教育長会、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国公立小・中学校女性校長会、全国特別支援学校長会、全国連合退職校長会、全国高等学校長協会、全国公立学校教頭会、全国特別支援教育推進連盟、全国へき地教育研究連盟、日本連合教育会、全国養護教諭連絡協議会、全国公立小中学校事務職員研究会、(公社)全国学校栄養士協議会、日本教職員組合、全日本教職員連盟、日本高等学校教職員組合、全国教育管理職員団体協議会